

情報公開文書

研究課題：泌尿器科 Cadaver Workshop の開催

研究方法：ご遺体を泌尿器科に関する手術手技を教育・臨床解剖学の目的で使用させていただきます。テーマは腎摘除・腎部分切除・膀胱全摘・前立腺全摘などの泌尿器科手術全般にわたります。これを毎回いくつかのテーマにしぼり教育・解剖を行います。解剖所見、組織所見などは基本的にデジタル写真で保存します。データのもとになっているご遺体のお名前など個人情報はわたくしども研究者には知らされておらず、外部にあきらかになることはありません。

本研究で使用するご遺体は年間3体程度、研究期間10年間で使用するご遺体は30体程度の見込みです。

研究責任者：京都大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 小林恭

医の倫理委員会承認番号：R2189

研究期間：研究機関の長の実施日から以降10年間

研究目的：京都大学に設置されているクリニカルアナトミーラボ（以下 CAL）で管理されるご遺体を用いて泌尿器科に関する手術手技を教育・臨床解剖学の探究を目的としています。

京都大学に設置されたクリニカルアナトミーラボ（以下 CAL）で管理されるご遺体を用いて泌尿器科に関する手術手技を教育・臨床解剖学の探究を目的とするものであります。テーマは腎摘除・腎部分切除・膀胱全摘・前立腺全摘などの泌尿器科手術全般にわたる。これを毎回いくつかのテーマにしぼり教育・解剖を行います。解剖所見、組織所見などは基本的にデジタル写真で保存します。データのもとになっているご遺体のお名前など個人情報はわたくしども研究者には知らされておらず、外部にあきらかになることはありません。本研究で使用するご遺体は年間3体程度、研究期間5年間で使用するご遺体は15体程度の見込みであります。

倫理面での配慮：この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および日本解剖学会の「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に基づいて立案し、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。

泌尿器科講座で適切に研修を実施しご遺体を使用いたします。また研修内容は CAL 運営委員会で承認をうけ、CAL のホームページに公開する予定です。

結果の公表について：この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が明らかになることはありません。

研究の資金・利益相反：本研究は、運営費交付金および参加者からの参加費により実施します。また手術機器のレンタル、機器操作方法指導のために以下に示す企業からの協力を得る事があります。また、利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

研究協力機関：

オリンパス株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン
コヴィディエンジャパン株式会社
日本ストライカー株式会社
リバーフィールド株式会社

研究のお問い合わせ先ならびに苦情などの窓口：

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学

担当者：助教 酒谷 徹

TEL：075-751-3337

FAX：075-751-3740

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

TEL：075-751-4748

E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp